

Nagoya *BSD Users' Group @ OSC 2017 Nagoya

OMRON LUNA-88KでPSG演奏

~ I/Oプロセッサの活用 ~

青山 健治 / Kenji Aoyama

LUNA-88Kにこっそり搭載されていた音源チップを鳴らす!! (要配線)

■LUNA-88K·LUNA-88K2とは?

LUNA-88Kは1990年にオムロン株式会社から発売されたワークステーションで、LUNA-88K2はその後継機です。モトローラ88100を最大4つ搭載可能なマルチプロセッサマシンで、標準OSとしてマイクロカーネル指向のMach OSが動いていました。

■ OpenBSDとは? OpenBSD/luna88kとは?

OpenBSDは、高いセキュリティ性を特徴とした、フリーでマルチプラットフォームのBSD系OSです。毎年2回、春と秋にバージョンアップがあり、最新版は2017年5月にリリースされたOpenBSD 6.1です。他のOSでも広く使われているOpenSSHや、OpenSSLの代替となるLibreSSLなども、OpenBSDプロジェクトの中で開発が行われています。

OpenBSD/luna88kは、OpenBSDをLUNA-88K・LUNA-88K2へ移植したものです。

- ightarrow OpenBSD http://www.openbsd.org/
- → OpenBSD/luna88k

http://www.openbsd.org/luna88k.html

■展示の見どころ

(1)本体そのもの

現在稼動可能なLUNA-88K・LUNA-88K2は、私の知る限り日本に3台とフランスに1台だけです。本日展示しているマシンはそのうちの1台で、発売後25年が経過した今、稼動している実機自体かなり珍しいと思います。

(2) I/Oプロセッサ上でのプログラム実行

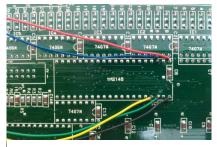
~ PSG(SSG)による楽曲演奏とCP/M ~

LUNAシリーズには、I/OプロセッサとしてZ80上位互換のHD641780が搭載されています。2016年、NetBSD/luna68kのport maintainerである筒井さんが、I/Oプロセッサを制御するためのデバイスドライバを作成しました。その後、



OSC京都で初代LUNAを用いて、 $I/Oプロセッサの先に接続されているYM2149で楽曲演奏させるデモを行いました。(音源ドライバは「よっしゅ」さん作成のPC-6001用音源ドライバの改造版を使用されています <math>\rightarrow$ http://park10.wakwak.com/~yosh/p6.html) OpenBSD/luna88kでも上記のI/Oプロセッサ用ドライバを取り込み、自作のZ80バイナリを動かすことができるようにしました。

また、LUNA-88Kも初代LUNAと同じくYM2149を搭載しています



↑YM2149からの出力信号配線追加

が、音源としては使用されておらず、基板上にサウンド出力配線がありませんでした。そこで出力配線を追加し、初代LUNAと同じ音源ドライバを用いて楽曲を演奏することができています。

また、I/OプロセッサがZ80互換であることから、I/O プロセッサ上でCP/Mを動かすことも試みています。

LUNA XP(HD6 Copyright 1	o /dev/xptty0 47180) CP/M 2. 979 (c) by Dig	2		
a>dir A: DUMP A: SUBMIT a>stat a:	COM : ED COM : XSUB	COM : PIP COM	COM : STAT	COM
Bytes Remai a>■	ning On A: 31k	i .		

↑I/OプロセッサでCP/Mが動いている様子

■LUNA-88K・LUNA-88K2の主な仕様

	LUNA-88K	LUNA-88K2	
CPU	MC88100(25MHz) 最大4つ	MC88100(33MHz) 最大4つ	
CMMU	1CPUあたりMC88200(25MHz)×2	1CPUあたりMC88200(33MHz)×2	
処理速度	100MIPS(4CPU、ピーク時)	147MIPS(4CPU、ピーク時)	
メモリ	16~64MB	16∼112MB	
I/Oプロセッサ	HD647180(6.144MHz)	HD647180(6.144MHz)	
PC-98拡張バス	なし	2スロット	
外部インタフェース	RS-232C×2	RS-232C×3	
	FDD	SCSI	
	SCSI	セントロニクス	
	セントロニクス		
LAN	10BASE-2/10BASE-5	10BASE-2/10BASE-5	
グラフィック	1280×1024 モノク□	1280×1024 モノクロ	
	1280×1024 16色	1280×1024 16色	
		1280×1024 256色	
発売時期	1990年	1992年	

■OpenBSD/luna88kの今後

I/Oプロセッサのさらなる活用、マルチプロセッサカーネルでの割り込み処理の性能向上、純正フレームバッファでのXのカラー化など、ネタはまだまだありますので、ハードウェアが動いている限りのんびりと趣味の開発を進めていきます。

青山 健治 / Kenji Aoyama

Nagoya *BSD Users' Group

Email: aoyama@nk-home.net

aoyama@openbsd.org

Twitter: @ao_kenji

URL: http://www.nk-home.net/~aoyama/

